

わたなべニュース

2017. 8. 1 vol. 92

発行元：社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部
TEL：0798(74)2630 FAX：0798(74)7257
ホームページ：<http://n-watanabe-hosp.jp/>

西宮渡辺心臓・血管センター 開院記念日

社会医療法人 渡邊高記念会
西宮渡辺病院 理事長 佐々木 恭子



6月1日は「西宮渡辺心臓・血管センター」の開院記念日です。

皆様のご支援の元、無事11周年を迎えることができました。

現在センターは常勤循環器内科・外科医師15名、脳神経外科5名を中心に心臓と脳血管の急性期病院として24時間365日皆様のお役に立てる病院となりました。

救急車とともに現場に駆けつけるラピッドレスポンスカーは地域の救命率の向上に役立ち、心不全チームの活躍で「可能な限り自宅で元気に」という皆様の願いにお応えすることが今現在のそしてこれからの私どもの願いでもあります。

昨年のCT装置の入れ替えに続き、今年度はMRIとアンギオ装置の入れ替えを行い7月には1.5テスラ、3テスラ二台のMRIが作動を開始します。これにより脳血管と心筋梗塞、どちらの対応もより迅速により確実に対応可能となるはずです。

7月には上甲子園に循環器リハビリを専門とするクリニックを開設します。

心筋梗塞や心不全のリハビリを継続して頂き、より健康により充実した日常を送っていただくことを目的とした循環器のリハビリクリニックです。

センター内にある疾病予防運動施設である「健康塾」では介護保険適応のリハビリや送迎も可能となりました。

不整脈の治療や下肢の動脈硬化に対する治療の充実、さらには脳血管疾患に対するより迅速で後遺症の残らない治療への努力など、様々な診療の充実への努力も続けています。

これからも地域の中核病院として、皆様がこの地域で安心して暮らしていただける病院を目指して努力を続けてまいります。

暖かいご支援をよろしくおねがいいたします。



新任医師紹介



西宮渡辺病院 整形外科 福永健治

近年、股関節、膝関節の痛みで歩くのがつらい、旅行などやりたいことを思うように出来ないと感じておられる方が多く、病院を受診されています。初期の股関節、膝関節の損傷にはリハビリテーション、鎮痛剤の内服、膝にはヒアルロン酸の関節注射などの治療があります。それらの保存治療をしても疼痛が改善せず、日常生活に支障を来すような痛みを感じている患者様には人工関節に置換する手術を施行し、生活の質を向上する治療法があります。まずはどのようなリハビリをしたら良いのか、鎮痛剤の内服が必要なのかを判断するために一度、西宮人工関節センターの受診をお勧めいたします。



循環器診療地域連携フォーラム特別講演

～医療行政から地域医療を考える～

【開催報告】

6月17日土曜日、西宮渡辺心臓・血管センター主催の「循環器診療地域連携フォーラム特別講演～医療行政から地域医療を考える～」を西宮市内、ノボテル甲子園にて開催しました。

今回は循環器診療地域連携フォーラム拡大版として、医療行政から地域医療を考えるをテーマとし、地域の医療・介護の関係者に加えて、阪神間で町を良くするために活躍されている様々な分野の方々に参加頂きました。

講演内容は、兵庫県立大学大学院 経営研究科医療・介護マネジメントコース教授 筒井孝子先生より「地域医療構想と地域包括ケアシステム」、東京大学大学院医学系研究科 循環器内科教授 小室一成先生より「循環器診療の現状と課題—循環器学会の5カ年計画について」ご講演頂きました。

現在、急激に高齢化が進んでおり、高齢化の波は地方から都市部にきており、阪神間もこれから本番を迎えようとしています。現在、病院に運ばれて来られるお年寄りの方は、一人暮らしや老老介護の方が多く、私たちが病気を治しただけでは済まない時代になっています。その中、医療関係者だけで医療を組み立てても地域の医療は成立せず、医療・介護に携わる全てのスタッフが共通の目的意識を持ち、地域が一つになって「地域包括ケアシステム」を整備していく必要があると考えています。

(西宮渡辺心臓・血管センター 事務部長 藤原新吾)



【小室 一成 教授】



【筒井 孝子 教授】



糖尿病外来・リウマチ外来のお知らせ

○糖尿病外来のご案内○

～毎日診察しています～

月曜日【午前・午後】担当医：小谷 玲子
火曜日【午前】 担当医：越智 史浩
水曜日【午前・午後】担当医：小谷 玲子
木曜日【午前・午後】担当医：大杉 敬子
金曜日【午前・午後】担当医：森本 晶子
土曜日【午前】 担当医：庄司 拓仁

●リウマチ外来のご案内●

月曜日【午前】担当医：西岡 亜紀
火曜日【午後】第1・3・5週 担当医：古川 哲也
第2・4週 担当医：横山 雄一
水曜日【午後】第2週のみ 担当医：角田 慎一郎
木曜日【午後】担当医：西岡 亜紀
金曜日【午前】担当医：西岡 亜紀



西宮わたなべサービス付き高齢者向け住宅「ひだまり」が 7月に開設しました

— 定期巡回・随時対応型介護看護事業所等の複合施設 —



私どもの法人は、急性期医療をはじめ地域に必要な公益的な医療を提供するとともに、各種の介護施設を運営し、切れ目ない医療・介護連携を実践しています。7月1日には、それらのノウハウを結集したサービス付き高齢者向け住宅「ひだまり」が新たに開設されました。

平成25年に前浜町に開設したサービス付き高齢者向け住宅「はまかぜ」は、介護老人保健施設や通所リハビリテーションなど健康回復型の複合施設「ハートケア西宮わたなべ福祉の郷」の中にあります。入居者様には、施設の機能を十分活用して、海岸線の歴史的な香りが残る前浜町で、いつまでも地域社会との関わりを大切に、自分らしく暮らしていただきたいというコンセプトで運営しています。

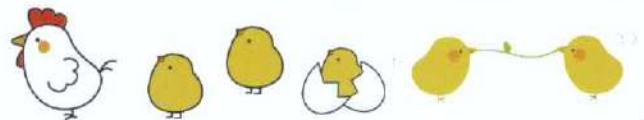
このたびオープンしましたサービス付き高齢者向け住宅「ひだまり」は、より医療連携を重視した西宮渡辺病院隣接型の高齢者向け住宅です。健康面でご心配のある方にも、できる限り安心・安全な生活を提案できる住宅を目指しています。そのため、施設内には、介護全般に亘って気軽に相談ができる居宅介護支援センターや、入居者様に介護・看護を24時間体制で総合的にサポートする定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を新設しました。

私どもの取組みの一つひとつが、西宮市が目指す“包括的で切れ目ない継続的な在宅医療・介護の提供モデル”となりますよう努めてまいります。

いつまでも自分らしく生活したい。しかし、一人暮らしが少し不安に思われている方は、一度、サービス付き高齢者向け住宅がどのようなところか、ご見学してみてください。生活体験などのご相談にも応じています。

さらに、保育所「すくすく保育わたなべ」を併設しています。この保育所は内閣府が提唱する企業主導型保育所です。私ども法人職員の児童だけでなく、地域の児童の入所も可能です。待機児童が社会問題になっている折、この分野においても、地域社会に寄与できればと考えています。

(法人副本部長 吉川泰文)



福祉の郷ボランティアコンサート 開催報告

ハートケア西宮わたなべ福祉の郷では、毎月ボランティアの方にお越しいただいています。

去る平成29年6月7日には、「るんるんパネラー」の皆様にも、ミニコンサートを開催して頂きました。

この日はあいにくの雨でしたが、それにぴったりの「雨降りお月」を声楽家のメンバーの方に歌って頂きました。観覧席の皆様も一緒に楽器を鳴らしながら歌謡曲を歌って頂きました。その歌にまつわるお話もあり、たくさんの笑顔に包まれたコンサートになりました。

(河合 茉絢)

【お問い合わせ】

TEL:0798-39-0170

ハートケア西宮わたなべ福祉の郷まで。

お気軽にご参加ください。



すいすい健康講座 5・6月開催報告

5月【開催場所：西宮渡辺病院】

5月の講座は西宮渡辺病院 リウマチ科 西岡 亜紀 医師による『関節リウマチについて』でした。

関節リウマチは何らかの原因によって普段は外敵をやっつける働きをしている免疫細胞が自分の関節を攻撃して起こる自己免疫疾患です。関節破壊が発症早期に起こってくる事が分かってきたため、関節リウマチを早い段階で診断し、早期に強力な治療を行ってゆくの現在の診断治療の流れです。関節リウマチの治療は基本的には抗リウマチ薬の内服薬を中心に行い、第一選択となる薬はメソトレキセートという免疫抑制剤です。また抗リウマチ薬の治療が効果不十分の場合は生物学的製剤を使い、なるべく関節破壊を起こさない様にする治療が主流です。このように非常に強力な薬剤が多数開発され、関節リウマチの治療は飛躍的に進歩しましたが、その反面治療による副作用や感染症の危険性も有り、治療を始める前のスクリーニングをしっかり行い、治療中も定期的に検査を行ってゆく事が重要です。

6月【開催場所：西宮渡辺病院】

6月の講座は西宮渡辺病院 看護部による『認知症を理解し、皆で支えよう』でした。

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり働きが悪くなったことで様々な障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態のことを指します。現在では65歳以上の4人に1人が認知症といわれています。

認知症を発症すると中核症状（記憶障害や判断力低下、言葉の理解ができない、時間や場所がわからない）と周辺症状（徘徊、妄想、不穏や興奮など）がみられます。

認知症の症状を知ることで、認知症を発症した本人や家族の支えになることができます。そういった場面に遭遇したときに自分はどうのように対応したらよいかを知っておくと良いです。大切なポイントは本人に不安を与えない、ゆっくり話す、わかりやすい言葉で話す、といったことです。

また自分が認知症にならないような対策として、普段よりバランスのよい食事、運動をすることです。運動の1つとしては認知症予防体操のグーパー運動があります（左手グーで胸に付け、右手パーで前に出す、を交互に繰り返す）1日数回行い、体を動かす様にしましょう。

西宮市役所ではいろいろなパンフレットがあります。参考にしてください。

心臓・血管センター 画像診断部 ご紹介

心臓・血管センター画像診断部は3名の新人を迎え11名で業務を行っています。今年に入り画像診断部では装置の更新が多数あり、一般撮影ではフラットパネル導入でレントゲン撮影の効率化を上げています。また1.5TのMRI装置もシーメンス社製の最新機種種の1.5Tに更新し、さらにシーメンス社製の3.0Tの最新MRI装置も導入されMRI装置2台体制となります。また血管撮影装置もシーメンス社製の最新機種に更新され、循環器領域・脳外科領域の検査を充実していきたいと思っております。

このように新しい装置が一度に更新されたため、画像診断部は大変ではありますが、放射線科医と各スタッフ協力

して装置の性能を十分に生かし画像提供出来るように頑張りたいと思います。画像診断部をよろしくお願ひします。

画像診断部



関連施設

- ・社会医療法人 渡邊高記念会
西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓・血管センター / 西宮わたなべ前浜クリニック
ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / グループホームむろかわ / 訪問看護ステーションむろかわ
居宅介護支援センターむろかわ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾
- ・社会福祉法人 高明会 シルバートピア西宮 / 訪問看護ステーションまえはま / 居宅介護支援センターまえはま

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

※ 当院各階詰所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。

編集